

## 最北端みかん2年目の出荷へ向けて！



宮城県山元町で国内最北端みかんの花が咲いた。

山元町高瀬地区でみかんを栽培しているのは齋藤  
まさなお  
正直さん（82）だ。

齋藤さんは2019年に内陸部の約42aの畑に  
300本の温州みかんを植えて栽培を始めた。

山元町は県内でも温暖な気候に恵まれているが、  
みかん栽培の実例がない東北地方での栽培となるため、  
防寒対策に力を入れた。木の根元にわらを敷き  
詰め、上からビニールを被せ、地熱を逃さないよう  
にした。

樹は枯れずに育ち、昨年の初収穫では約200kgとなり、販売は仙台市内の青果卸売業  
である仙台あおば青果に出荷した。

6月になると、みかんはきれいな白い花を咲かせ、さわやかな甘い香りが一面に広がる。この時期  
から畑に虫が発生するため、防除作業に大忙しだ。

最北端みかん2年目の出荷へ向けて齋藤さんは  
「山元町産の美味しいみかんを多くの人に味わっ  
てほしい」と期待に胸を膨らませている。

